

<目的地を目指して>

イザヤ35：1～7

バビロンからエルサレムまでの道のりは約1000キロ。

この道のりを捕囚から解放された民は、数ヶ月かけて歩いて帰還した。

「あなたがたは弱った手を強くし、よろめくひざを健やかにせよ。」 3節

大変な道のり。しかしエルサレムに帰還する民には喜びと希望があった。

心騒ぐ者たちに言え。「強くあれ、恐れるな。見よ、あなたがたの神を。

復讐が、神の報いが来る。神は来て、あなたがたを救われる。」 4節

この道の先には、目指す目的地があるのだから！

◆ビジョンと現実はかけ離れている。だから神に対して疑いが生まれる。

・救われた人の信仰の道のり

・出エジプトを果たしたイスラエルの民が、約束の地を目指す道のり

「私たちはエジプトの地で死んでいたらよかったのに。できれば、この荒野で死んだほうがまだ。なぜ主は、私たちをこの地に導いて来て、剣で倒そうとされるのか。私たちの妻子は、さらわれてしまうのに。エジプトに帰ったほうが、私たちにとって良くはないか。」そして互いに言った。

「さあ、私たちは、ひとりのかしらを立ててエジプトに帰ろう。」 民数記14：2～4

◆神様は素晴らしい完成図を見せてくださる。そして私たちが成長するように練られる。古き人が取り扱われ、刷新される時。決して喜ばしい時ではない。

主よ。あなたは私たちの父です。私たちは粘土で、あなたは私たちの陶器師です。

私たちはみなあなたの手で造られたものです。 イザヤ64：8

◆ビジョンを実現されるのは主御自身であり、私は器に過ぎないという事を学ぶ。

荒野と砂漠は楽しみ、荒れ地は喜び、サフランのように花を咲かせる。 【1節】

回復不可能と思われる現実。その殺伐とした
現実には、花が芽吹き、喜びが溢れる時がくる。
現実からは想像しがたい未来像が語られた。

神の御子イエスキリストが人としこの世に生まれ、
この信じがたい未来像を実現し、完成してくださった！
そしてそれを、私たちに与えてくださった。

- ◆私達が抱える問題の根本は問題そのものではなく、それによって希望が持てないこと。
人生に期待が、希望が持てない……。荒野・荒地。これを回復されたキリスト。

幻がなければ民はほしいままにふるまう。箴言 28 : 18

ビジョンの人は、現実には支配されず希望の将来を見る。
神のことばに従っていく人は、厳しい現実には置かれても、素晴らしい将来を
見て語る。生きる。その言葉やあり方は、周りにいる人にも慰めと希望を与える。

【ビジョンの人】



ユダの荒野に咲くサフラン